

ちむ美らさ

第68号

発行：北部農林水産振興センター
農業改良普及課
沖縄県名護市大南1-13-11
電話：0980-52-2752
FAX：0980-51-1013

沖縄県畜産共進会で伊江村出品牛が 農林水産大臣賞受賞！

目次

- 1P・畜産共進会
- 2P・冬型牧草の生産
青年農業者会議
- 3P・キクノ白さび病
- 4P・マンゴー適正温度管理
防災農業賞の受賞

第40回沖縄県畜産共進会(種畜部門)が11月8～9日に南部家畜市場(糸満市)で開催されました。北部地区からは、伊江村の農業生産法人(有)カダ原畜産の「たまご」号が出品され、みごと、最高賞である農林水産大臣賞に輝きました。枝肉部門は、10月5～10日に沖縄県食肉センター(南城市)で開催され、本部町のもとぶ牧場が優秀賞を受賞しました。

また、畜産共進会とあわせて開催された「まーさんフェスティバル」では、精肉、卵等の販売や山羊汁、ステーキ等の出店、乳搾り体験等が行われ、家族連れでにぎわっていました。

種畜部門(肉用牛)の受賞者

若雌 第1類		
優秀賞	市町村	出品者
1席	うるま市	阿波連 牧子
2席	伊江村	内田 徹
3席	伊江村	照喜名 清治
4席	久米島町	知念 直喜

若雌 第2類		
優秀賞	市町村	出品者
1席	南城市	城間 利幸
2席	久米島町	金城 功
3席	宮古島市	荷川取 広明
4席	うるま市	山城 篤

成雌 第1類		
優秀賞	市町村	出品者
1席	うるま市	安慶名 米昭
2席	伊江村	崎浜 秀清
3席	宮古島市	荷川取 広明
4席	糸満市	山城 義光

成雌 第2類		
優秀賞	市町村	出品者
1席	伊江村	カダ原畜産
2席	うるま市	比屋根 清子
3席	糸満市	前門 真秀
4席	久米島町	亀島 智弘



農林水産大臣賞を受賞した
カダ原畜産の「たまご」号

枝肉部門(肉牛)の受賞者

優秀賞	市町村	出品者
1席	うるま市	石川 豊
2席	沖縄市	山城畜産
3席	本部町	もとぶ牧場
4席	石垣市	JA八重山肥育センター



まーさんフェスティバルの様子

(担当:瑞慶山)

冬型牧草を生産して、 冬場の飼料コストを低減させましょう！

沖縄県で主に栽培されている暖地型牧草は、夏場にはたくさんの収量がありますが、冬場には生育が抑制され、あまり収量が期待できません。そこで、冬場にイタリアンライグラス等の冬型牧草を栽培し、飼料自給率向上・飼料コスト低減を図りましょう！

冬型牧草生産のメリット

- 冬型牧草は、購入乾草に比べて約半分のコストで生産できます。
- 冬型牧草の青刈給与により、母牛の受胎率向上が期待できます。



イタリアンライグラスの草地

(担当: 瑞慶山)

平成26年度沖縄県青年農業者会議

“北部地区青年農業者連絡会議”の 妻鹿晋介氏と與座正也氏が奨励賞を受賞しました！

平成26年11月27日(木)に那覇市のサザンプラザ海邦にて、平成26年度沖縄県青年農業者会議が開催されました。北部地区からは妻鹿晋介氏と與座正也氏が代表として、それぞれプロジェクト発表と意見発表を行い奨励賞を受賞しました。

本会議は青年農業者が日頃の営農や地域活動を通じて、研究や実践している活動成果についてプロジェクト発表と意見発表を行い、農業技術および経営の相互交換を図り、これからの農業経営や地域農業の振興に資することを目的としています。



(担当: 普照)

キクの白さび病に注意しましょう！

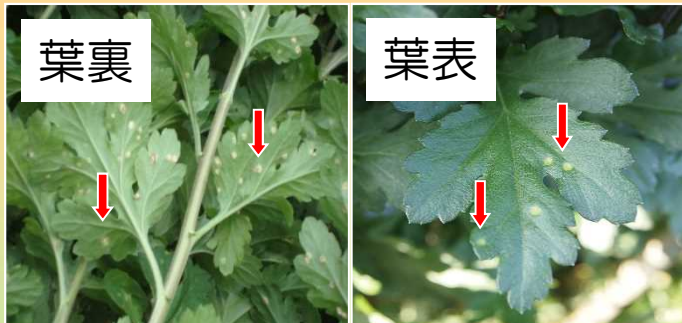


図 白さび病によるキクの葉の症状
(図中の矢印は病斑)

(白さび病の発病条件)

- ①発病の適温は15℃～23℃。
(沖縄では11月～5月)
- ②多湿条件下。
(胞子は乾燥に弱く、湿度87%以下では死滅する)
- ③数時間以上の降雨で、胞子の発芽や葉へ侵入しやすい。

(白さび病の対策)

- ①不要な下葉・脇芽を除去し、通風を良くする。
- ②ハウスなどの施設では、湿気がこもらないように換気を行う。
- ③葉をよく観察し、初期発生を見逃さない。
- ④発生しやすい時期(11月～5月)には、予防剤を主体とした薬剤のローテーション散布を行う。
- ⑤発病葉は除去し、畑の外へ持ち出し焼却する。
- ⑥発病後は3日間隔・2週間を目安に、他の株へ感染していない事を確認するまで、治療剤の薬剤散布を行う。

(白さび病を見分けるポイント)



必ず下葉からの発生ではなく、
7ワ-ネット近辺からの発生もある。



畝の中央部や風通しの悪い場所等、
湿気が多い場所に注意。

マンゴーの着果を促進する管理作業 適正な温度管理で結実率UP!

● マンゴーは開花からいくつもの過程を経て結実に至ります。
花穂の伸長や開花、花粉の発芽、受粉昆虫の活動に適した温度は**25℃前後**です。**35℃以上、20℃以下**の温度では、ミニマンゴーが多くなります。開花期は側面のビニールをこまめに開閉し、適正な温度になるよう管理してください。



● 開花期の適正な温度
20℃ ~ 25℃ ~ 35℃
目標温度

(担当: 上地)

東村の名誉指導農業士玉城氏が防災農業賞を受賞

11月27日に石垣市で開催された『防風林の日』関連行事で防災農業賞の受賞式が行われ、個人の部において名誉指導農業士の玉城忠男氏が受賞されました。玉城氏は40代の頃からタンカン園やパインアップル園の防風林の育成に取り組んでおり、現在、イスノキにより園地を区切り、減風効果を高めています。

団体の部では、石垣島果樹生産出荷組合が受賞しました。同団体はマンゴー栽培に取り組んでおり、安定的に生産し供給するため、防風林及び防風垣の整備を計画的に実施してきました。樹種はイスノキ、テリハボク、イヌマキ等を植栽しています。

記念講演会では、琉球王朝時代より県内各地に抱護(ほうご)と呼ばれる樹林帯を集落の周りに設置し、台風の被害から集落を守ってきた、先人の時代からの災害に対する取り組みが紹介されました。

受賞者懇談会の中で玉城氏は、今後、農産物の安定生産を続けて行く上で防風林の育成は欠かすことができない。農家に防風林の必要性についての意識高めるために、県、市町村、農家が一体となり取り組んでいく必要があると述べました。



受賞者の集合写真



玉城氏防風林の様子

(担当: 嘉手苺)